

3. 報告

(3) 「旧西部消防所根戸分署」の登録申請について

ア. 経過

H25 年度 根戸分署移転に伴い解体となったため、事前に文化財調査

H26 年度 追加調査，本委員会にて中間報告

H27 年度 建物の三次元計測，現況図作成

H28 年度 高射砲連隊及び照空予習室を 3 DCG により復原・公開

H29 年度 文化庁調査官現地実査（登録の条件を満たす物件であると判断）

R05.05 国登録有形文化財に登録申請

R05.06 屋上防水及び外壁塗装工事実施設計―補正予算計上

R05.11 登録予定

イ. 登録申請所見（金出委員）

建造物の概要

千葉県北西部に位置する柏市根戸に置かれた陸軍高射砲第二連隊の高射砲射撃演習用に使われた照空予習室は、第二次世界大戦後、消防署の分署及び町会の集会所となり、長年地元で親しまれてきた。

市川市国府台に開設された高射砲第二連隊は、ともに防空をつかさどる航空部隊が駐留する陸軍柏飛行場が完成した昭和 13 年（1938）に、根戸へと移転してきた。ここにこの照空予習室を含む一連の建物が建設された。

本建物の竣工時期を示す資料は確認されていないが、昭和 16（1941）年に高射砲連隊は、教育と訓練に専念する補充隊を残して東京に移駐しているので、この時までには施設は完成していたと考えられる。なお、設計者及び施工者は不明である。

建造物の特徴

鉄筋コンクリート造の建物は、規模が間口 8 メートル・奥行 16 メートル・屋上高さ 10 メートル、陸屋根の平屋で東面に外階段がとりつく。北側にあった営庭に正面を向けるように、この南端中央に建てられ、今日は角地に立つ。現在は 2 階建であるが、当初は床や間仕切りのない吹き抜けの大空間であった。外部には、重い測遠器を地上から屋上に引き上げる起重機の構造が屋根から 2 本の角（つの）のように伸び、外観を特徴づける。

調査を通して、建築当初の形式を復原することができた。正面中央及び西側面

南端に出入り口、窓開口部には縦長の上下窓と換気口、内部吹き抜けの南寄りに回るコの字型の回廊には外階段からあるいは梯子で上がるようになっていた。外部には前述の起重機がとりつき、鉄製のレールやカゴは終戦直後に撤去されたようである。

窓も少なく閉鎖的な天井の高い室内が、「照空予習室」であった。白・橙・青の間接電気照明を用いて帆布を張った壁と天井に時間帯の異なる空をつくり出し、投影機で異なる種類の飛行機を空に写し出して移動させた。これを敵機に見立てて攻撃を指揮する術を身につけるのだった。また、頑丈に造られた屋上が「測遠器訓練所」となり、敵機の代わりに遠方の鉄塔やラジオゾンデを目標としてこれらの位置を測遠機で見定める練習が行われた。

この特殊な用途のための建物は、昭和 10 年代に全国に数えるほどしか建てられておらず、現存するのは民間所有の加古川と公共所有の柏市の事例しかないことが判明している。

建設年代・改修年代

昭和 13 年（1928）頃に完成したこの建物は、戦後空き家となった後、昭和中期に消防分署へと改装された。1967 年より 2009 年まで 1 階が柏市消防署の根戸分署となり、正面側を消防車庫として利用、奥には署員の事務室・控え室が設けられていた。2 階は引き続き 2017 年まで、地元の高野台町会と富勢商店会が本拠地とした。

地理院地図
(電子国土Web)

例： 鋤岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒 / 35.00 1:

初期表示印刷共有設定ツールヘルプ

+

0

-

30 m

あ

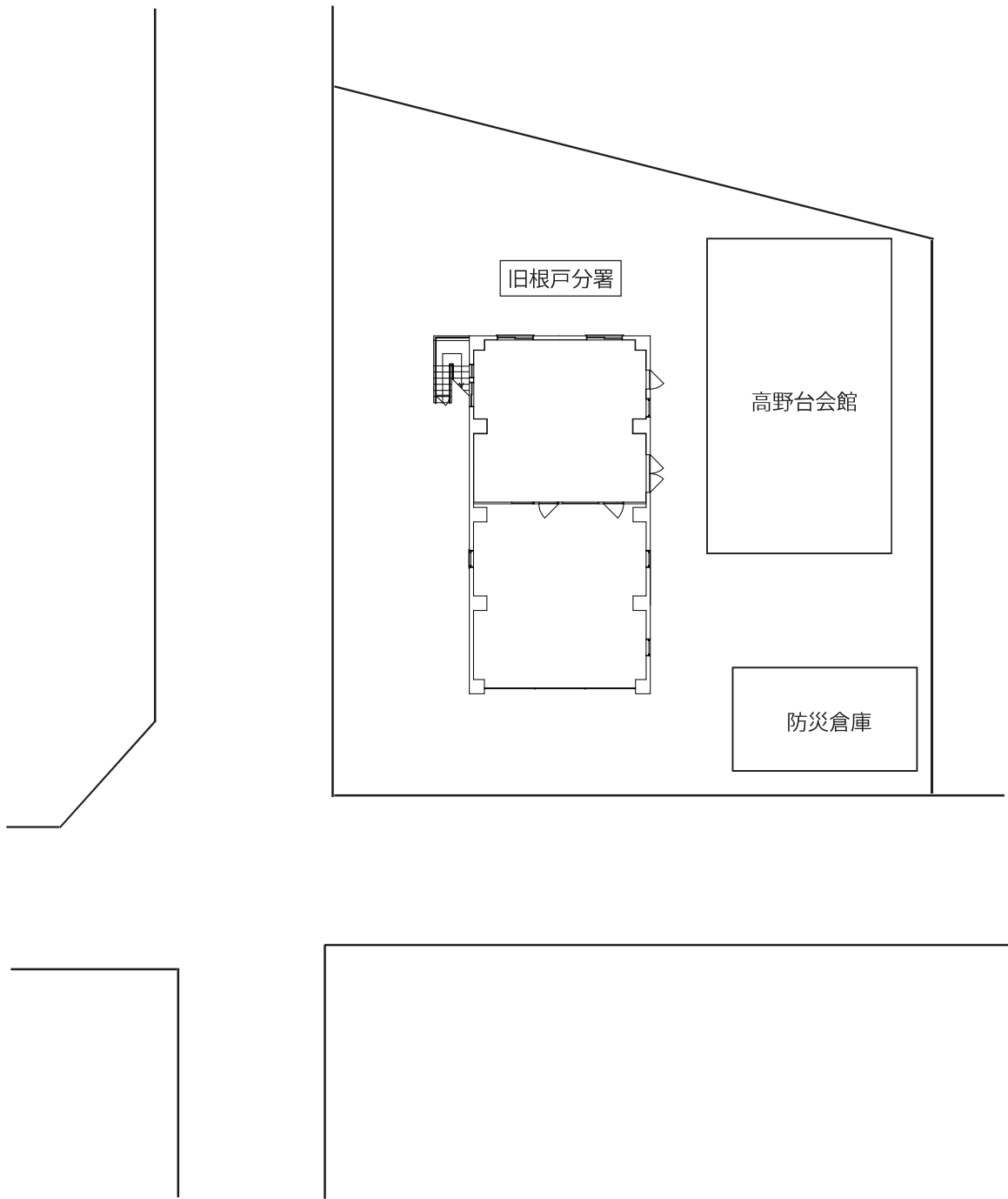
千葉県柏市根戸 (付近の住所。正確な所属を示すとは限らない。)

35度52分57.55秒 139度59分18.42秒 35.882653,139.988450 ズーム: 18

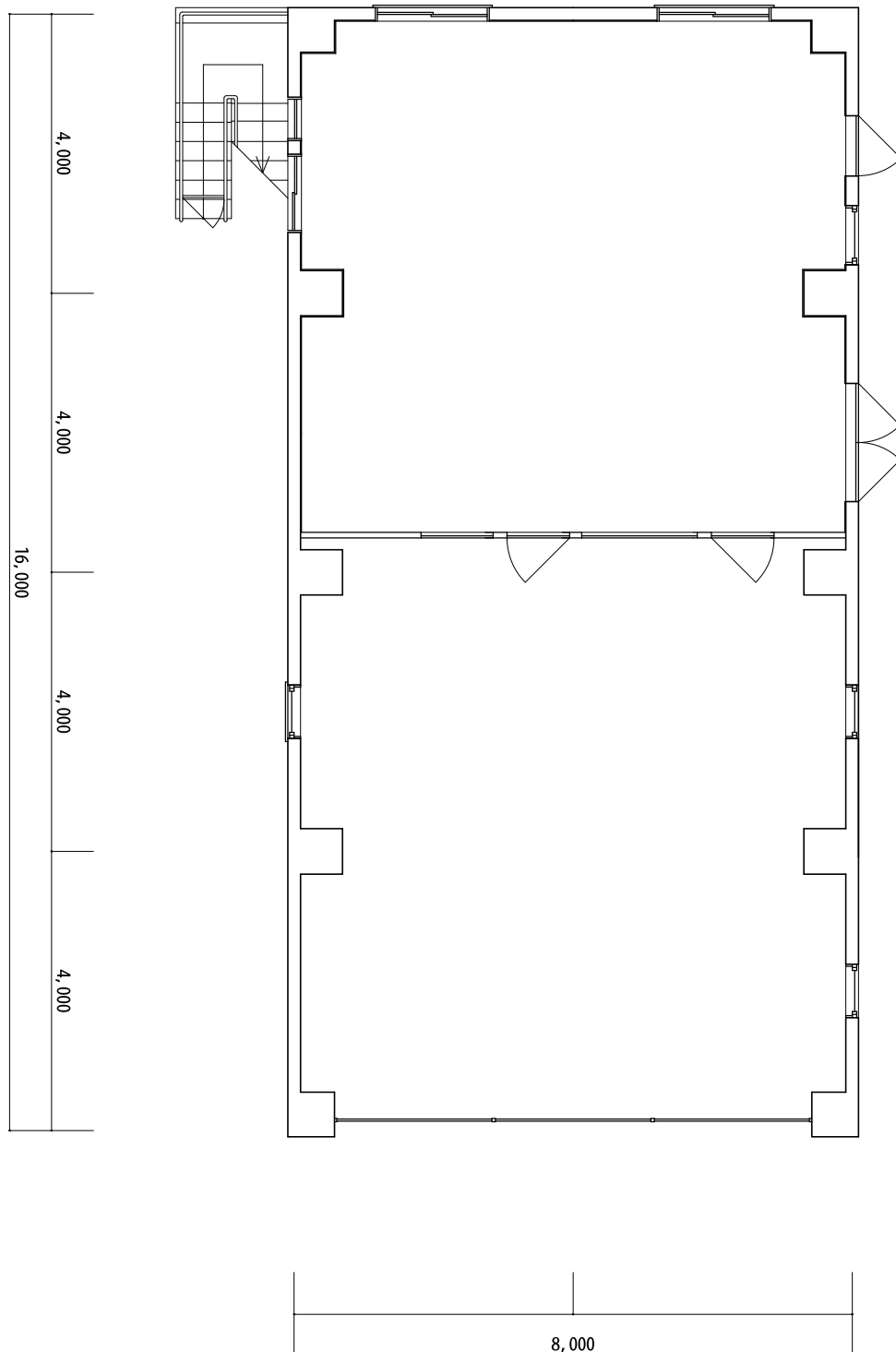
UTMポイント: 54SVE08697140

標高: 19.0m (データソース: DEM5A)

表示値の説明

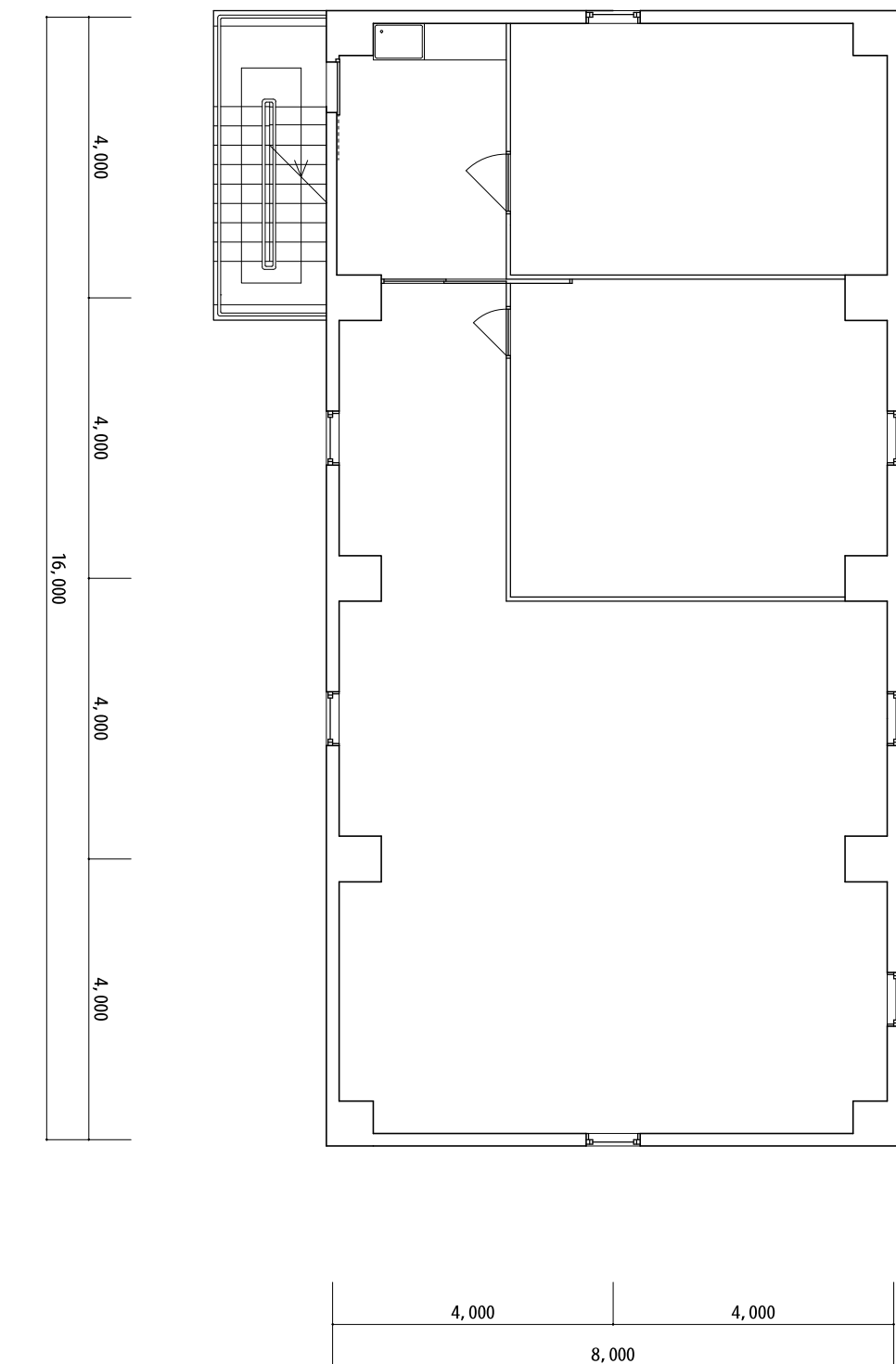


配置図
S=1/300



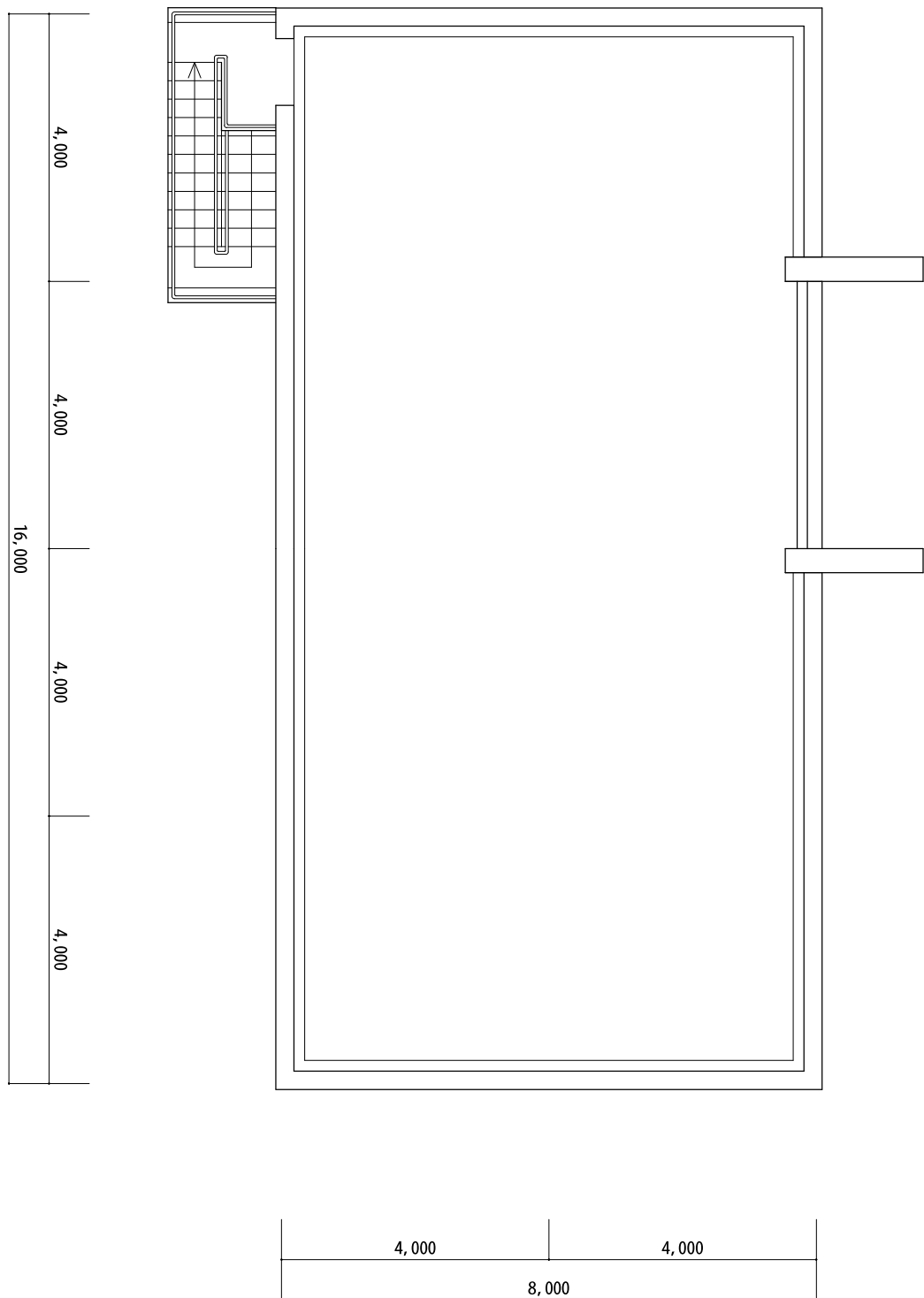
旧柏市西部消防署根戸分署
(旧高射砲第二連隊照空予習室)

1 階平面図 S=1/100



旧柏市西部消防署根戸分署
(旧高射砲第二連隊照空予習室)

2 階平面図 S=1/100



旧柏市西部消防署根戸分署
(旧高射砲第二連隊照空予習室)

屋上平面図 S=1/100



1

外観 北東から見る



2

外観 北西から見る



3

外観 西から見る



4

外観 南東から見る



5

階段を東から見る



6

階段下方を東から見る



7

外観 南西から見る
画面左は新築された高野台会館



8

南西から見る遠景



9

東から見る遠景



10

1 階室内 西壁を見る
画面左は後設の間仕切り壁



11

1 階室内 南東隅を見る
画面左の柱に梯子の痕跡



12

1 階室内 西壁南寄り
画面左に当初の出入口、右は後
設された出入口。



13

1 階南壁上方
2 階床下に当初の回廊が残り、
手摺りの間隔が読みとれる。



14

2 階天井裏
コンクリートは仕上げられてお
らず、当初の天井材が残る



15

2 階室内 南を見る（町会使用時）
床と奥の間仕切り壁は後設



16

2階室内 南を見る



17

2階室内 東を見る



18

2階室内 西を見る